

マメ科 ヤハズソウ属

ヤハズソウ (矢筈草)

Kummerowia striata (Thunb.) Schindl.

自生環境

野原、河川敷、道ばた など

原産地

日本在来

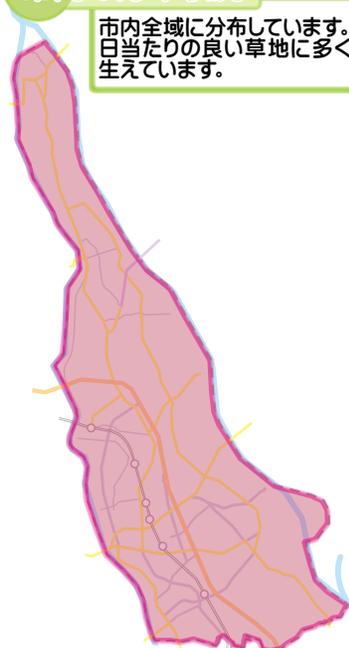
生育を脅かす要因

(今のところ特になし)

市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。しかし目の敵にしすぎるのは考えもの。地域に咲く野の花として、やさしく見守る気持ちを大切にしたいところです。

市内の分布状況

市内全域に分布しています。日当たりの良い草地に多く生えています。



特徴

- ★ 日当たりのよい草地にごく普通に生える1年草です。砂利道のわきや芝生広場の中で特によく見かけます。ヤハズソウ属に分類される植物は東アジアに2種類のみ（ヤハズソウとマルバヤハズソウ）です。2種類とも野田市内で見ることができます。
- ★ 茎は枝分かれしながら成長し、草丈10～40cmほどになります。茎には下向きの毛が多く生えています。クローバー（シロツメクサ）のように小葉は3枚ずつつきます。そのことから英名は *japanese clover* と言います。
- ★ 8～10月頃、葉のわきに小さな花を1～2個ずつつけます。花後にできる果実はいわゆる「豆」ですが、さやの中に入るタネは1個のみで、あまり豆らしくはありません。果実のさやの先はツンととがっています。

葉をそっと引っ張ると…

矢筈は矢の後ろ（矢羽根のある側）の先端にあるV字形の切れ込みのことを言います。矢を飛ばすときに、ここに弦を引っかけます。転じて、V字形の切れ込みのことを広く「矢筈」と表現します。ヤハズソウの矢筈も同様で、爪を立てないように、指の腹でやさしく引っ張ると、葉脈に沿ってV字形、つまり矢筈形に切れ込みます。名前の由来もここから来ています。



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

